

令和4年度 実施計画書

# 学校教育部

指導課

まなび未来課

学校給食センター

# 学校教育部

1. 部内組織			
部長	足立 多恵	構成課等	指導課 学校給食センター
			まなび未来課
2. 暮らしの夢(総合計画基本構想より)			
1 心も体もいきいきと、思いやり、心(情)の通う暮らし			
3 子どもや若者が、それぞれの個性を育み、のびのびと遊び、学ぶ暮らし			
3. 部の重点的な取り組み			
中長期的にみた重点的取り組み		今年度の重点的取り組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市長戦略」「交野市教育大綱」の理念の実現</li> <li>・児童生徒の情(こころ)を育み、「変化する力・変化に対応する力」を育成(学校教育ビジョン)</li> <li>・児童生徒数減少に伴う学校課題への対応</li> <li>・児童生徒の健やかな成長の確保</li> <li>・学校の規模適正化及び適正配置</li> <li>・安全で安心な学校給食の提供</li> <li>・学校給食センター調理部門の民間委託</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育の取組みの充実(市長戦略)</li> <li>・言語活用力の向上、外国語教育の充実、プログラミング教育の推進</li> <li>・学校ICT環境の充実と利活用</li> <li>・第一中学校区におけるコミュニティスクールの導入</li> <li>・方向性の定まっていない市立小中学校の適正配置の検討</li> <li>・学校給食センター調理部門民間委託の円滑な実施(市長戦略)</li> </ul>	
4. 施策の柱と目的			
施策の柱	施策の柱の目的	具体的施策	所管課等
人権教育・道徳教育を基盤とした情(こころ)を育む教育の推進	小中一貫した指導により、児童・生徒の問題解決能力や多様な人間関係を形成する力を伸ばし、未来に夢や希望を持ち、社会の一員として必要な能力の育成に努めるよう、学校を指導、支援する。また、いじめ問題の克服に取り組む。	人権教育・道徳教育・キャリア教育 生徒指導の充実・読書活動の推進	指導課
「確かな学力」の育成と、主体的・対話的で深い学びの実現	小中一貫教育の実施や授業におけるICT活用の推進により、児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現し、これからの社会で必要となる学力や能力の育成を図る。	確かな学びが実感できる学校 ICTに対応した教育環境の整備	指導課 まなび未来課
学校経営の自主性・自律性と特色ある学校づくりの推進	各学園(中学校区)の「めざす子ども像」を学校と保護者や地域が共有し、「小中一貫教育は地域で子どもたちを育てる教育」という意識を高め、学校と地域が一体化した特色ある教育活動をすすめる。	地域とともにある学校づくりの推進	指導課
学校規模の適正化	現在及び将来の児童・生徒にとって望ましい教育環境の維持・向上を図るべく、児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化を踏まえ、市立小中学校の適正規模及び適正配置の方向性を検討する。	小中学校の適正配置の検討 交野市学校規模適正化基本計画の推進	まなび未来課
安全で栄養バランスに配慮した魅力ある学校給食	児童・生徒に安全で栄養バランスに配慮した魅力ある学校給食を提供し、健全な発達と望ましい食習慣の形成を図る。学校と連携し食育を推進する。	学校給食の充実	学校給食センター
5. 部の課題と解決に向けた取り組み			
部の抱える課題・リスク		課題解決に向けた取り組み	
ICT環境の整備・充実と利活用		ICT整備計画に基づく環境整備および拡充 利活用検討委員会等による効果的な活用方法の研究と効果検証	
教育課題の多様化		学校支援や教育相談の充実	
学校規模適正化に伴う学校統合		将来を見据えた学校の適正規模及び適正配置の検討	

# 学校教育部

## 指導課

### 1. 課の目的

児童・生徒に様々な学習の機会を通して、基礎・基本を定着させ、主体的に学び考える力などの「確かな学力」の育成を図るとともに、ともに学びともに育つ視点に立った一人ひとりの個性を伸ばす教育・指導の充実を図る。

### 2. 課の所掌する施策

1 「確かな学び」が実感できる学校	2 豊かな人間性と夢を育む学校
3 地域に根ざした特色ある学校	

### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
・学習指導要領の着実な実施	主体的・対話的で深い学びの推進／プログラミング教育・外国語教育の推進／言語活用力向上の推進へ向けた取組
・児童・生徒の発達の早期化等への対応及び不登校児童生徒への対応	各関係機関との連携／ケース会議によるアセスメントの実施／スクールソーシャルワーカー等の活用による家庭への支援
・児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズへの対応	学校図書館を活用した子どもの居場所づくり／インクルーシブ教育の充実
・小中一貫教育の取組の充実	新たな科の推進／小小・小中交流の実施／教科担任制の実施／学園評議員会の開催／コミュニティ・スクールの一部導入

### 4. 業務のスマート化

進める上での課題	取り組み内容
課内の情報の共有化	・毎朝の職員朝礼の継続及び課内会議を月2回以上実施 ・復命書や報告書の迅速な作成と供覧
庁内他部署との連携や協力体制	・担当者同士の情報共有の迅速化 ・他部署との連携強化
人材育成・ノウハウ継承	・定期的な課内ミーティングの実施 ・業務マニュアルの作成等による、業務の明確化と効率化

## まなび未来課

### 1. 課の目的

ICTの環境整備など将来を見据えた児童・生徒の教育環境の維持・向上を図り、統合等に伴う新たな学校づくりを進める。児童生徒数の減少や学校施設の老朽化状況を踏まえ、市立小中学校の規模適正化及び適正配置を進める。

### 2. 課の所掌する施策

1 学校規模の適正化	2 ICT環境の整備による教育環境の充実
------------	----------------------

### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
・少子化による児童生徒数の減少に伴う学校の規模適正化、適正配置	適正配置の方向性が定まっていない中学校区について、学校の適正配置についての検討
・ICT環境の整備	ICT整備計画に基づくICT機器の維持・管理

### 4. 業務のスマート化

進める上での課題	取り組み内容
庁内他部署との必要な会議や調整の多さ	会議等の目的や論点の事前整理と周知
柔軟な働き方と業務分担のかかわりの難しさ	課内業務内容等の情報共有とサポート体制

# 学校教育部

## 学校給食センター

### 1. 課の目的

成長期にある児童・生徒の心身の健全な発達のために、栄養バランスに配慮した魅力ある学校給食を提供します。また、児童・生徒に対して、自らの健康を考え、食に関する知識と望ましい食習慣を身に付ける指導及び教育を行い、学校給食を生きた教材とした食の指導を行う。

### 2. 課の所掌する施策

1 安全・安心な学校給食の提供	2 食物アレルギー対応食・除去食の提供
3 食育の推進と啓発	4 学校給食調理業務等の民間委託



### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
年間を通じて児童・生徒に、安全・安心で魅力ある給食を提供する。	健全な発育に資する安全・安心な学校給食の提供を図るため、HACCPの概念を取り入れた運用を行い、共同調理場の施設及び設備、食品の取扱い、調理作業、衛生管理体制等について 実態把握に努め、安全・安心で魅力ある給食を提供する。
食物アレルギー対応食・除去食の提供	食物アレルギー応委員会の中かで、安全・安心を最優先にした協議を行い、対象児童・生徒のアレルギーの状況を十分に把握し、学校、保護者、医師、学校給食センター等の連携の下、除去食の提供を行う。
学校給食調理業務等の民間委託	日々の報告及び提出書類の確認を行い総括責任者と協議を行う。また、毎月1回、総括責任者及び各責任者とセンター会議を行い、安全・安心で美味しい給食提供ができるように努める。

### 4. 業務のスマート化

進める上での課題	取り組み内容
円滑な調理業務を行う。	作業工程表、作業動線図、調理作業指示書を事前に情報共有を行う。

学校教育部 指導課

<b>施策 1</b>		<b>「確かな学び」が実感できる学校</b>	
SDGsとの関係	G4教育	 	
	G17パートナーシップ		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)		20 子どもたちが、しっかりと基礎学力を身につけている 25 自ら興味や問題意識を持ってすすんで学んでいる 28 外国の人や異なる文化と交流し、理解と友好を深めている	
目的		子どもたちに基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と活用 「かたのスタンダード」に基づいた指導方法の工夫改善 障がいのある子どもの自立への支援	
今年度の目標		児童・生徒一人ひとりに応じた多様な教育、指導方法の工夫・改善／小学校35人学級の実施／中学校フォロー支援員の配置／小中一貫教育の実施／ALT6名による英語教育の充実／ICT環境の整備による教育環境の充実／児童・生徒が主体的・能動的に学ぶ「主体的・対話的で深い学び」の推進	
関連する法令等	法令	学校教育法、義務教育諸学校における教科用図書の無償措置に関する法律	
	条例・規則	交野市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会条例	
	計画	市長戦略、交野市教育大綱、学校教育ビジョン、交野市小中一貫教育指針	
	要綱等		
	業務マニュアル		
	ネットワーク	学校支援員派遣、大学教授招聘、大阪府教育委員会、交野市障がい福祉課、交野市リーディングチーム、民間企業(プログラボ等)や大学(関西外国語大学等)との連携 等	

<b>事業 1</b>		<b>授業改善と教員の資質向上</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
拡大・重点化	概要	教育ICT機器の効果的活用を進めながら、授業研究・授業改善等の一層の充実を図る		1 教職員研修	28	28	23
				2 学習支援員の派遣	5616時間	3000時間	5189時間
	国府補助	子どもの貧困緊急対策事業費補助金		予算・決算額(歳出)	5,616千円	3,000千円	5,189千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	2,808千円	1,500千円

<b>事業 2</b>		<b>小中一貫教育事業</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
拡大・重点化	概要	・小学校から中学校への円滑な接続を図る ・9年間を見通した指導の一貫性や系統性を図る ・新たな科の推進をはじめ、英語教育、プログラミング教育の充実及び言語活用力の向上を図る		1 学園(中学校区)児童・生徒及び教職員の交流	20回	16回	10回
				2 児童生徒アンケート「授業がわかりやすく楽しい」の項目の割合	90%以上	86%	85%
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	8,530千円	8,840千円	11,272千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

<b>事業 3</b>		<b>グローバル・コミュニケーション能力向上支援事業(外国語教育の充実)</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	・小中学校外国語(英語)教育充実のための研究や4技能を統合した授業づくりを推進する ・ALTを活用したコミュニケーション活動の充実に取り組む ・英語プレゼンテーション大会及び英検IBAを実施する		1 英語指導助手の派遣	すべてのクラスにおける外国語教育に活用	すべてのクラスにおける外国語教育に活用	すべてのクラスにおける外国語教育に活用
				2 中学3年生における英検3級程度の生徒の割合	65%	64%	64%
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	25,250千円	25,156千円	22,148千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

学校教育部 指導課

施策 1 「確かな学び」が実感できる学校

事業 4		少人数学級の整備と充実			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	小学校において、35人以下学級にすることで、児童一人ひとりに対しきめ細かな指導を行う			1	児童アンケート「少人数の授業はよくわかる」の項目の割合	90%以上	86%	89%
					2				
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	—	—	—	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	





事業 5		学校教育活性化推進事業			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	学校が進める教育活動を支援する			1	人権課題や指導方法の改善について、取り組んでいると回答の教職員の割合	90%以上	90%	90%
					2				
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	6691千円	6940千円	5159千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

事業 6		支援教育の推進			指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
拡大・重点化	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいの状況に応じた支援や指導を行い障がい者(児)理解を推進する</li> <li>個別の教育支援計画及び指導計画の作成・活用と通級による指導の充実</li> </ul>			1	支援教育支援員の派遣	9680時間	5680時間	5000時間
					2	個別の教育支援計画及び指導計画の作成と活用に係る指導助言回数	2回	2回	2回
	国府補助	新子育て支援交付金			予算・決算額(歳出)	9,680千円	5,680千円	5,000千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	2,075千円	0千円	5,000千円	

事業 7		交野市小・中学校学力充実支援事業			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>他府県の先進校への視察を通じ、先進事例を取り入れ、一層の授業の充実と学力の向上を図る</li> <li>小学校定期テストにより、学習の躰きを把握するとともに、中学校の学習につなげる</li> </ul>			1	先進校視察を伴う研修会の実施	1回	1回	—
					2	小学校定期テストの実施	全小学校で実施	全小学校で実施	全小学校で実施
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	1,380千円	1,080千円	614千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

事業 8		教科用図書採択事務			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	教科用図書の採択と社会科副読本を印刷・配付する			1	教科書採択	教科書採択	教科書採択	選定委員会の開催と教科書採択
					2	副読本の印刷	770冊	770冊	1540冊
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	704千円	704千円	1,399千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

## 学校教育部 指導課

施策 2		豊かな人間性と夢を育む学校				
SDGsとの関係	G1貧困	    				
	G4教育					
	G5ジェンダー					
	G10不平等					
	G17パートナーシップ					
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	18	子どもたちの未来に明るい希望がある				
	29	一人ひとりの違いをお互いに尊重しあい、差別なく暮らしている				
	11	困難を抱えている人をみんなで支えあっている				
目的	人権尊重の教育の推進 子どもたち同士の豊かな人間関係や信頼関係の確立 道徳教育、キャリア教育の推進					
今年度の目標	人権教育・心の教育を基礎とした個性を伸ばす教育を充実/豊かな人間性を育む9年間を見据えた生徒指導の充実/家庭教育力の向上のための支援					
関連する法令等	法令	学校教育法、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律				
	条例・規則					
	計画	市長戦略、交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略、交野市教育大綱、交野市学校教育ビジョン				
	要綱等					
	業務マニュアル					
	ネットワーク	生徒指導支援者派遣、大学教授招聘、大阪府教育委員会、ゲストティーチャー 等				

事業 1		生徒指導(相談)体制の充実			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	・児童・生徒、保護者の悩みや不安を的確に受け止め、問題行動の早期発見や未然防止に努める ・スマートフォン、タブレット端末、SNS等のネットトラブル対策の強化			1 生徒指導支援員派遣	960時間	960時間	644時間
					2 いじめの解消率	100%	100%	100%
	国府補助	子どもの貧困緊急対策事業費補助金			予算・決算額(歳出)	6,805千円	6,965千円	6,806千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	3,402千円	480千円	420千円

事業 2		キャリア教育の推進			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	中学校区における全体計画に基づき、児童・生徒が将来に対する目的意識を持つとともに、進路を選択する能力と態度を育成する			1 進路指導資料配付	中学校3年生全員に配付	中学校3年生全員に配付	中学校3年生全員に配付
					2 職場体験学習	実施4校	実施0校	実施0校
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	365千円	365千円	355千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

事業 3		人権教育の推進			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	「であい」や「つながり」を大切に、多様性を認め、様々な人権を学ぶことで自己肯定感を育て、自己実現をめざし、人との豊かなつながりを築く人権教育を推進する			1 教職員研修	2回	2回	2回
					2 作文応募人数	58名	58名	56名
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	102千円	102千円	134千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

学校教育部 指導課

施策 2

豊かな人間性と夢を育む学校

事業 4		アウトリーチ型家庭教育支援事業		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	家庭教育支援員を家庭へ派遣するとともに、不登校対策支援員を活用し、家庭や児童・生徒の抱える課題の早期発見及び関係諸機関と連携を行う		1 家庭訪問回数	400時間	330時間	323時間
				2 不登校生徒への学習サポート	1160時間	1350時間	1201時間
	国府補助	子どもの貧困緊急対策事業費補助金		予算・決算額(歳出)	2,000千円	2,370千円	1,925千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	1,000千円	1,185千円



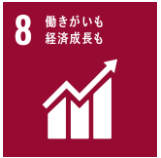

事業 5		情(こころ)の教育実践支援事業		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	いじめや不登校、暴力行為等の諸課題の解決を図り、「交野市いじめ防止基本方針」に基づく組織等を支援する		1 教職員研修	3回	3回	3回
				2 学校訪問等による支援	450回	450回	105回
	国府補助	子どもの貧困緊急対策事業費補助金		予算・決算額(歳出)	2,503千円	2,463千円	293千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	1,252千円	1,232千円

事業 6		スクールソーシャルワーカー活用事業		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	虐待や不登校等に関する児童・生徒を取り巻く生活環境の諸課題の解決を図るために、各学園(中学校区)にスクールソーシャルワーカー1名を配置し関係機関との連携を深めることで家庭支援を行う		1 学校への派遣回数	155回	155回	155回
				2 関係機関との連携件数	150回	150回	71回
	国府補助	スクールソーシャルワーカー活用事業		予算・決算額(歳出)	3,100千円	3,100千円	3,100千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	1,550千円	1,550千円

事業 7		子ども未来サポート事業		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	子どもの心と体の居場所づくりとして、放課後の学校図書館を開館し、活動員が見守り等を行う		1 図書館への来館者数	延べ2,700人	延べ2,500人	延べ2,575人
				2 学校教育アンケートで「学校に行くのが楽しい」と回答する児童の割合	90%以上	88%	88%
	国府補助	新子育て支援交付金(優先配分枠)事業		予算・決算額(歳出)	4,760千円	4,420千円	3,574千円
	位置付け	選択事務	実施形態	直接実施	うち国府負担額	4,545千円	3,928千円



## 学校教育部 指導課

施策 3		地域に根ざした特色ある学校			
SDGsとの関係	G3保健				
	G4教育				
	G8成長・雇用				
	G17パートナーシップ				
	—				
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)		21 様々な人の経験や技が、子どもたちの興味、関心を呼び起こしている			
		23 地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている			
		8 地域がふれあいに満ちていて笑顔が自然とわいてくる			
目的		学校評価の充実／地域に開かれた学校づくりの推進／学校を拠点とした教育コミュニティの育成／地域の教育資源の有効活用／学校運営体制の確立／安全で安心な学校			
今年度の目標		社会に開かれた教育課程のもと、地域の人的・物的資源を活用した教育活動の充実／学校が家庭や地域と連携し、めざす子ども像を共有した小中一貫教育の推進／コミュニティ・スクールの導入／カリキュラム・マネジメントによる、義務教育9年間を見通した学校づくりの推進／働き方改革の推進			
関連する法令等	法令	学校教育法			
	条例・規則				
	計画	交野市教育大綱、交野市学校教育ビジョン、交野市小中一貫教育指針			
	要綱等				
	業務マニュアル				
	ネットワーク	地域ボランティア、校区福祉委員会等校区内の団体、ゲストティーチャー 等			

事業 1		魅力ある教育活動			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	自主性・自律性を活かしながら特色ある学校作りを推進する。また、地域の専門家や技術者を授業や部活動の指導者として招聘、派遣する			1 小中学校指導者招聘、派遣	575回	598回	547回
					2			
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	1,974千円	2,040千円	1,646千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

事業 2		開かれた学校づくりの推進			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	コミュニティ・スクールの導入を進めるとともに、学校・家庭・地域がそれぞれの教育力を生かし、三者が一体となって地域の子どもの教育にあたる			1 第一中学校区コミュニティ・スクール導入及び第二・第三・第四中学校区での評議員会の実施	・第一中学校区での学校運営協議会の実施 ・第二・第三・第四中学校区での評議員会の実施	・第一中学校区コミュニティ・スクール設置に向けての準備委員会を設置 ・全学園(中学校区)での評議員会の実施	全学園(中学校区)での評議員会の実施
					2 学園(中学校区)プランの活用	学園プランの実践	学園プランの改訂	学園プランの実践
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	336千円	200千円	—
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

学校教育部 指導課

施策 3

地域に根ざした特色ある学校

事業 3		子どもの安全確保と危機管理体制の充実			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域・家庭・学校が連携して取り組んでいく環境づくりの推進</li> <li>・減災の視点から、災害発生時には危険を回避するために主体的に行動する態度の育成</li> </ul>			1	学校防災計画の見直し	1回	1回	1回
					2	地震や火災などが起こった場合に、どうしたら良いか教えてもらっている。児童生徒の肯定的回答	100%	95%	96%
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	—	—	—	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	


事業 4		教職員の働き方改革			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
拡大・重点化	概要	教職員の業務負担の軽減を図り、児童生徒と関わる時間を確保することで、効果的な教育活動を推進する			1	一斉退庁日・ノークラブDAYの実施	一斉退庁日:週1日 ノークラブDAY:週2日	一斉退庁日:週1日 ノークラブDAY:週2日	一斉退庁日:週1日 ノークラブDAY:週2日
					2	学校閉庁日の実施	年5日	年5日	年5日
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	—	—	—	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

# 学校教育部 まなび未来課

施策 1		学校規模の適正化	
SDGsとの関係	G4教育		
	G11都市		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)		18 子どもたちの未来に明るい希望がある	23 地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている
目的		現在及び将来の児童生徒にとって望ましい教育環境の維持・向上を図るべく、児童生徒数の減少や学校施設の老朽化を踏まえ、市立小中学校の適正規模及び適正配置の方向性を検討する。	
今年度の目標		「学校規模適正化基本計画」及び「学校施設等管理計画」で学校適正配置の具体的な方向性が定まっていない中学校区について、今後の学校配置の方向性を定める。	
関連する法令等	法令	学校教育法	
	条例・規則	交野市立学校に関する条例、交野市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則	
	計画	市長戦略、交野市教育大綱、交野市学校教育ビジョン、交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略、交野市公共施設等総合管理計画、交野市公共施設等再配置計画、交野市学校規模適正化基本計画、交野市学校施設等管理計画	
	要綱等		
	業務マニュアル		
	ネットワーク	校長会、教頭会、交野市学校教育審議会、市立小中学校の適正配置等に関する懇談会	

事業 1		学校規模の適正化		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	策定した「学校規模適正化基本計画」及び「交野市府学校施設等管理計画」の中で、学校適正配置の方向性が定まっていない中学校区について、今後の方向性を検討する。		1	方向性の定まっていない中学校区の適正配置の方向性の策定	第三中学校区及び第四中学校区の学校適正配置の方向性の検討	—
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	554千円	3,453千円	2,233千円
位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

学校教育部 まなび未来課

施策 2		ICT環境の整備による教育環境の充実	
SDGsとの関係	G4教育		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	20	子どもたちが、しっかりとした基礎学力を身につけている	
	25	自ら興味や問題意識を持ってすすんで学んでいる	
	28	外国の人や異なる文化と交流し、理解と友好を深めている	
目的	子どもたちに基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と活用 「かたのスタンダード」に基づいた指導方法の工夫改善		
今年度の目標	ICT環境整備の拡充		
関連する法令等	法令	学校教育法	
	条例・規則		
	計画	交野市教育大綱、交野市教育施策、交野市学校教育ビジョン	
	要綱等		
	業務マニュアル		
	ネットワーク	大阪府教育庁、校長会、教頭会、事務職員会、養護教諭部会	

事業 1		未来の教育ICT環境整備 (NE×T) 推進事業		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	学校におけるICT環境の維持・管理及び活用促進に向けたICT支援員 (GIGAスクールサポーター) の配置	1	ICT支援員 (GIGAスクールサポーター) の配置	2名	2名	3名
			2	学習者用コンピューター一人一台環境の実現	6594台	6594台	6594台
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	109,369千円	112,779千円	391,951千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	5,804千円

事業 2		校務支援システム導入事業		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
(新規)	概要	校務支援システムの維持・管理	1	校務支援システムの維持・管理	校務支援システムの安定運用	校務支援システム導入に伴う安定運用	校務支援システムの導入
			2				
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	49,940千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

事業 3		教育ネットワークに関する事業		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	就学事務に係る情報共有のための学事システムの維持・管理	1	学事システムの維持・管理	突発的トラブルに対する保守対応	突発的トラブルに対する保守対応	突発的トラブルに対する保守対応
			2				
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	7,531千円	6,428千円	12,919千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

学校教育部 まなび未来課

施策 2

ICT環境の整備による教育環境の充実

事業 4		学校ICT環境整備事業			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
改善・効率化	概要	今後の市内小中学校における学校ICT環境整備			1	学校ICT環境整備	教室・職員室・PC教室及びネットワークの整備	PC教室及び職員室PC維持・管理	PC教室及び職員室PC維持・管理
					2				
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	57,046千円	30,949千円	24,365千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

施策 1		学校給食の充実				
SDGsとの関係	G2飢餓					
	G3保健					
	G4教育					
	G8成長・雇用					
	G12生産・消費					
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	2	体のなかから健康でいたいので、食を大切にしている				
	23	地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている				
	54	農業がまちの生業といえるほどに、みんなで支えている				
	65	地球の温暖化に気を配り環境にやさしい配慮をしている				
	68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている				
目的	魅力ある学校給食を提供し、児童・生徒の心身の発達のために、栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図る。また、児童・生徒に対して、自らの健康を考え、食に関する知識と望ましい食習慣を身に付ける指導及び教育を行い、給食を通じてバランスの良い食事を家庭に啓発し、行事食を活かして、日本の伝統的な食文化を伝える。					
今年度の目標	食物アレルギー対応食については、今年度からは、卵のみの除去食・エビのみの除去食、卵、エビを両方抜いた3通りの除去食の提供を行っている。「安全・安心」を最優先にし、対象児童・生徒のアレルギーの状況を十分に把握し、学校、保護者、医師、学校給食センター等の連携の下、除去食の提供に努める。また、今年度から民間委託になります。これまで取り組んできた食育の啓発については、引続き行っていく。具体的には、PTA試食会や地域の方・児童による給食センター見学及び試食会、学校訪問による交流給食や市内のイベント等での学校給食の紹介、夏休み親子料理教室等を実施し、家庭や地域において、学校給食や食育に対する理解の促進を図る。					
関連する法令等	法令	学校給食法				
	条例・規則	交野市立学校給食センター条例、交野市学校給食費の徴収に関する規則				
	計画	交野市教育大綱、交野市学校教育ビジョン、交野市教育施策、交野市健康の増進、食育推進計画				
	要綱等	交野市学校給食物資納入業者選定委員会設置要綱、交野市学校給食献立作成委員会設置要綱、交野市学校給食物資選定委員会設置要綱				
	業務マニュアル	学校給食衛生管理マニュアル、学校給食作業マニュアル、学校給食における食物アレルギー対応マニュアル				
	ネットワーク	交野市農業生産連合会				

事業 1		安全・安心な学校給食の提供			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	児童生徒に対して、自らの健康を考え、食に関する知識と望ましい食習慣を身に付ける指導及び教育を行うとともに、健全な発育に資する安全・安心で美味しい給食を提供する。			1 学校給食の提供	191回	191回	179回
					2			
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	537,112千円	513,607千円	455,977千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

事業 2		食育の推進と啓発			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	学校・家庭・地域が連携する、食育の啓発活動			1 学校給食夏休み親子料理教室	3日54組 108名	—	—
					2			
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	195千円	—	—
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

施策 1

学校給食の充実

事業 3		学校給食の収納率			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	適正な収納管理を行い、収納率を高める。			1 収納率	99.20%	99.15%	99.13%
					2			
	国府補助				予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

事業 4		就学援助(学校給食)			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	就学援助のうち学校給食費について、就学援助費受給資格が認められた世帯の児童・生徒に対する学校給食を支給する。			1 対象人数	773	675	696
					2			
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	35,640千円	28,976千円	28,076千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—